

項目別の自己評価表

1. 学校の教育目標

学校法人京都 YMCA 学園はキリスト教団体として、イエスキリストの生き方にもとづき、人間性が尊ばれ、平和で公正な世界の実現をめざして策定された「京都YMCA PLAN125」に基づいて運動・事業を展開しています。京都YMCA国際福祉専門学校においても、学校そのものがこの使命を追求していきます。同時に学生自身が共感し、実践できる人材として成長できるように援助し、専門分野において十分な貢献を果たせるように、また地域社会ひいては広く世界の「平和と公正」に寄与できる人材を養成したいと考えます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①. 地域ニーズを踏まえ、行政機関や就業先、他 YMCA 等と連携し、学生募集を行う。
- ②. 全学科において外国人学生の拡大を目指す。
- ③. 学科間・2校間の連携による業務連携や教職員の働き方改革を通して運営の合理化を図り、収支均衡を目指す。
- ④. 学校評価への組織的な取り組みや教職員研修を通じて、各校の質的向上を目指す。
- ⑤. 学園の寄付金拡大に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
理念（使命）と教育目標が教職員、学生に周知されているか。	4 ③ 2 1

<課題>

- ・入学前と入学後から卒業までの間の育成人材像をさらに明確にし、学びの課程を通じて学生や保護者に理解を求める仕組みが必要である。

<今後の改善方策>

- ・入学ガイダンスや学期間での定期的オリエンテーションの充実を図る。

(2)組織

(2-1)組織体制

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合しているか。	④ 3 2 1
事業規模に応じた組織体制になっているか。	④ 3 2 1
受け入れようとする学生の言語に対応できる組織となっているか。	④ 3 2 1

<課題>

- ・非漢字圏の学生が特に東南アジアの学生が増加しつつあり、英語以外の対応言語が必要となってくることが予想される。

<今後の改善方策>

- ・多言語に対応した翻訳機の導入を図る。

(2-2)教員組織

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
校長、主任教員及び教員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定める要件を備えているか。	④ 3 2 1
校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか。	④ 3 2 1
教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示されているか。	④ 3 2 1

(2-3) 事務組織

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化されているか。	④ 3 2 1
生活指導責任者及び入管事務担当者が学生及び教職員に周知されているか。	④ 3 2 1
入国管理局により認められた申請等取次者を配置しているか。	④ 3 2 1

<課題>

- ・生活指導責任者をさらに追加する必要がある。

<今後の改善方策>

- ・教職員に対する生活指導等研修の実施。

(2-4) 採用と育成

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されているか。	④ 3 2 1
教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組みをしているか。	4 ③ 2 1
教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。	4 ③ 2 1
教員及び職員の評価を適切に行っているか。	4 ③ 2 1

<課題>

- ・教員歴の短い教員も増えてきているため、より一層の教員研修を実施する必要がある。

<今後の改善方策>

- ・独自研修に加えて YMCA グループの他学校と連携した研修参加を促す。

(3)財務

(3-1)財務状況

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
財務状況は、中長期的に安定しているか。	④	3	2	1
予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか。	4	③	2	1
適正な会計監査が実施されているか。	④	3	2	1

<課題>

- ・より一層の安定した学生確保に努め、財務状況の変動を防ぐ必要がある。

<今後の改善方策>

- ・国・地域別の募集リスクを事前に想定し、学園資金計画を立てる。

(4)教育環境

(4-1)校地、校舎

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
教育機関として適切な位置環境にあるか。	④	3	2	1
安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。	④	3	2	1
校舎面積は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか。	④	3	2	1

<特記事項>

- ・耐震工事を実施完了した。

(4-2)施設、設備

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
教室、その他の施設は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか。	④	3	2	1

教室内は、十分な照度があり、換気がなされているか。	④	3	2	1
すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか。	④	3	2	1
授業時間外に自習できる部屋が確保されているか。	④	3	2	1
教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、 常時利用可能であるか。	④	3	2	1
視聴覚教材や I T を利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されているか。	4	③	2	1
教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されているか。	4	③	2	1
同時に授業を受ける生徒数に応じたトイレが設置されているか。	④	3	2	1
法令上必要な設備等が備えられているか。	④	3	2	1
廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか。	④	3	2	1
バリアフリー対策が施されているか。	④	3	2	1

<課題>

- ・ IT・メディアを使った授業を増やし、ICT・AV 機器の導入を増やす必要がある。

<今後の改善方策>

- ・ 各教室内の LAN 接続工事の実施

(5)安全・危機管理

(5-1)健康・衛生

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
健康、衛生面について指導する態勢を整えているか。	④	3	2	1
対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて、 留学生保険にも加入しているか。	④	3	2	1

重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めているか。	④	3	2	1
感染症発生時の措置を定めているか。	④	3	2	1

<特記事項>

他学科に看護師資格を持つ教員もおおり、緊急時には対応することになっている。

(5-2)危機管理

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
危機管理体制が整備されているか。	④	3	2	1
火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めているか。	④	3	2	1
気象警報が発令された場合の措置を定めているか。	④	3	2	1
災害等に対する避難訓練を定期的実施しているか。	4	③	2	1
防災用品が備蓄されているか。	④	3	2	1

<課題>

- ・避難訓練の実施が不定期となっているため、定期実施が必要である。

<今後の改善方策>

- ・訓練の定期実施

(5-3)法令の遵守等

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
法令順守に関する担当者を特定しているか。	④	3	2	1
教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っているか。	④	3	2	1
個人情報保護のための対策がとられているか。	④	3	2	1
入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか。	④	3	2	1

(6) 運営全般

(6-1) 組織的な運営

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか。	④	3	2	1
管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか。	4	③	2	1
意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能しているか。	④	3	2	1
予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか。	④	3	2	1
業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか。	4	③	2	1

<課題>

- ・組織的な管理運営マニュアルの未整備や個々人による業務運営が多く見られる。

<今後の改善方策>

- ・会議体の設定を増やし、組織的な業務遂行を行う。

(6-2) 納付金

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されているか。	④	3	2	1
学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。	④	3	2	1
関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか。	④	3	2	1

(6-3) 情報の共有化及び発信

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
外部からの情報提供が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがあるか。	④ 3 2 1
内部からの情報発信が効率的に行われているか。	④ 3 2 1
入学希望者・学習者及びその利害関係者(経費支弁者等)の理解できる言語で情報提供を行っているか。	4 ③ 2 1

<課題>

- ・東南アジアを中心とした非漢字圏の入学希望者が増えているが、英語以外の言語での情報提供ができていない。

<今後の改善方策>

- ・翻訳ソフト等機器の活用。

(7) 学生募集

(7-1) 募集方針

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定しているか。	④ 3 2 1
募集定員を定めているか。	④ 3 2 1
機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか。	④ 3 2 1

(7-2) 募集活動

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
教育内容、教育成果を含む、最新、かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されているか。	4 ③ 2 1

求める学生像を明示しているか。	④	3	2	1
応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示しているか。	4	③	2	1
募集活動を行う国・地域の法令を遵守し募集活動を行っているか。	④	3	2	1
海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っているか。	④	3	2	1
海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	④	3	2	1

<課題>

- ・東南アジアを中心とした非漢字圏の入学希望者が増えているが、英語以外の言語での情報提供ができていない。

<今後の改善方策>

- ・翻訳ソフト等機器の活用。

(8)教育活動

(8-1)企画

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか。	④	3	2	1
教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされているか。	④	3	2	1
レベル設定に当たっては、国内で又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか。	④	3	2	1
教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。	④	3	2	1
カリキュラムは、体系的に編成されているか。	④	3	2	1
教育目標に合致した教材が選定されているか。	④	3	2	1

補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにすると共に、著作権法に留意しているか。	④	3	2	1
授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供しているか。	④	3	2	1
教員配置が適切になされているか。	④	3	2	1

(8-2)実施

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
授業開始までに学生の能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。	④	3	2	1
教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習暦その他指導に必要な情報を伝達しているか。	④	3	2	1
開示されたシラバスによって授業が行われているか。	4	③	2	1
修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか。	④	3	2	1
教育内容に応じて教育用機器を活用しているか。	④	3	2	1
授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか。	④	3	2	1
理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われているか。	④	3	2	1
学生の自己評価を把握しているか。	4	③	2	1
個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか。	④	3	2	1
特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。	4	③	2	1

授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか。	④	3	2	1
学習内容、時間割と学年暦、成績判定の基準と方法、学習上の留意点、留學生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者名漢字圏、非漢字圏の習熟度合いにおいてクラス編成を行い、レベルに応じたカリキュラムにより体系的に学習を進めている。また、教員においては教授する方法、準備等が取れるように授業のコマ割を行い、定期的な研修等サポートを行っているか。	④	3	2	1

(8-3) 成績判定

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか。	④	3	2	1
成績判定結果を的確に学生に伝えているか。	④	3	2	1
判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。	④	3	2	1

(8-4) 授業評価

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
授業評価を定期的実施しているか。	④	3	2	1
評価態勢、評価方法及び評価基準が適切であるか。	④	3	2	1
学生による授業評価を定期的実施しているか。	④	3	2	1
評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか。	④	3	2	1

<特記事項>

- ・学生からの授業評価アンケートを定期的に取りっている。

(9) 学生支援

(9-1) 支援体制

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
学生支援計画を策定し、支援態勢が整備されているか。	④	3	2	1
休日及び長期休暇中の学生対応ができていますか。	4	③	2	1

<課題>

- ・長期休暇中における学生との連絡方法が確立されていない。

<今後の改善方策>

- ・SNSの活用等コミュニケーションツールを確立する。

(9-2) 日本社会を理解し、適応するための支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
入学直後のオリエンテーションを実施しているか。	④	3	2	1
生活に関するオリエンテーションを実施しているか。	④	3	2	1
地域交流や地域活動を実施しているか。	④	3	2	1

(9-3) 生活における支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
住居支援を行っているか。	4	③	2	1
アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。	4	③	2	1
交通事故等の相談態勢が整備されているか。	4	③	2	1
定期的に健康診断を実施しているか。	④	3	2	1

学生全体の生活状況について定期的に調査しているか。	④	3	2	1
---------------------------	---	---	---	---

(9-4)進路に関する支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
進路指導担当者が特定されているか。	④	3	2	1
学生の希望する進路を把握しているか。	④	3	2	1
進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。	④	3	2	1
入学時から一貫した進路指導を行っているか。	④	3	2	1

(9-5)入国・在留関係に関する指導及び支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っているか。	④	3	2	1
入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか。	④	3	2	1
在留に関する学生の最新情報を正確に把握しているか。	④	3	2	1
在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか。	④	3	2	1
不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っているか。	④	3	2	1
過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。	④	3	2	1

(10)教育成果

(10-1) 成果の判定

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
新旧及び卒業判定が適切に行われているか。	④	3	2	1
本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。	④	3	2	1

(10-2) 卒業生の状況の把握

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
卒業生の状況を把握するための取組みを行っているか。	4	③	2	1
卒業後の進路を把握しているか。	④	3	2	1
進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握しているか。	4	③	2	1

<課題>

- ・卒業生の追跡調査が困難である。

<今後の改善方策>

- ・SNS 等によるつながりを継続し、同窓会組織の立ち上げ。